

JMFF

日機連週報

第3510号 2025年7月4日(金)

CONTENTS

● 委員会報告

第10回企業マネジメント研究委員会

富士通株式会社 本店での講演「富士通の生成 AI 研究と製造業での事例」
および Fujitsu Technology Hall 技術紹介

● 委員募集中

企業マネジメント研究委員会のご紹介

● ワシントンレポート特別記事

経済史上最も日米関係を象徴する買収が成立 —国家安全保障と企業買収の今後—

● 経済産業省公開情報

- ・「企業価値向上に向けた海外資本活用ガイドブック」の公表について

● 日機連の動き

● 会員イベント情報

(一社) 電子情報技術産業協会

「センシング先端技術動向 調査報告会」の開催について

(一社) 情報通信ネットワーク産業協会

講演会「韓国の通信市場概要および通信認証に関して」のご案内

(一社) 日本ねじ工業協会 「人手不足を乗り越える職場づくりセミナー

～人材確保のための健康経営～」のお知らせ

(一社) ビジネス機械・情報システム産業協会 「成果発表会 2025」のご案内

● お知らせ

(一社) 日本航空宇宙工業会 「2028 国際航空宇宙展 (JA2028)」

公式キャラクター「JACKY」の YouTube サイト【JACKY Channel】のご紹介

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

● 委員会報告

第 10 回企業マネジメント研究委員会

富士通株式会社 本店での講演「富士通の生成 AI 研究と製造業での事例」

および Fujitsu Technology Hall 技術紹介

第 10 回企業マネジメント研究委員会(委員長:秦 則明、(株)日立製作所 グローバル渉外統括本部 産業政策本部 渉外戦略企画部 担当部長)を 6 月 11 日(水)に富士通株式会社 本店において開催し、富士通研究所 人工知能研究所 シニアディレクター 鈴木 源太氏から「富士通の生成 AI 研究と製造業での事例」と題して話を聞き、意見交換を行った。あわせて、Fujitsu Technology Hall の技術展示について説明を受け、視察を行った。(文責:日機連)。



Fujitsu Technology Hall 集合写真

[講演要旨]

I. 富士通の AI 研究

富士通株式会社(以下「富士通」と称する)は、1980 年代に日本初の AI 搭載コンピュータを発表し、長年にわたって AI 技術の研究と実用化に取り組んできた。2023 年 4 月には、クラウドベースの AI 基盤である「Fujitsu Kozuchi」を発表し、業種や用途に応じて、生成 AI を迅速かつ安全に業務適用するためのプラットフォームとして位置付けている。2024 年 9 月には、日本語で最高精度のエンタープライズ大規模言語モデル(LLM)である「Takane」を Cohere 社と共同開発して発表し、カスタマイズ性や企業規則への準拠を確保した企業特化型 LLM として性能の向上に取り組んでいる。

生成 AI 分野では、大規模汎用モデルの登場により自然言語生成が飛躍的に進化し、その後、音声・画像・映像生成などに活用領域が拡大した。現在は、複数の情報を統合し、自律的に判断・行

動できる「AI エージェント」へと進化しつつあり、人間の指示を待たずに課題解決や業務支援を担う「対話型知能」の実現が現実味を帯びている。富士通でも、2024 年 10 月に「Fujitsu Kozuchi AI Agent」を発表し、人と協調して自律的に高度なタスクを実行することを目指し、研究開発を進めている。

また、富士通の全社グローバル戦略「Fujitsu Uvance」では、持続可能性や社会課題解決を掲げ、生成 AI や AI エージェント技術を Work Life Shift ソリューションとして位置づけており、製造・医療・金融など幅広い業界への応用を見据え、国内外の企業や大学との共同開発を進めている。

II. 現場知識の継承と支援を実現する AI エージェント

生成 AI を企業内で本格的に活用するには大きな課題が存在する。多くの企業では、業務知識の 74%が構造化されていない、すなわち文書化・データベース化されていないまま存在し、うち 42%が一度作成されただけで再利用が困難な情報で占められているとされる。作業者の経験則、暗黙知に基づく判断といった非構造化情報が業務の質を支えているのが実情である。富士通研究所では、企業の非構造化情報をナレッジグラフとして体系的に整備することで AI が活用可能な状態にし、作業者の要求に応じて必要情報を抽出して、回答根拠の提示や、改善案の提案などを含めた高精度な回答を可能にする「ナレッジグラフ拡張 RAG」の提供を進めている。

AI エージェントへの進化にともない、会議 AI エージェントが従業員の会議に参加し、会議中の会話を聞きながら必要と思われるデータを提示したり、会議の内容を精査して各従業員のタスクを整理することも可能になってきている。また、製品設計 AI エージェントは、作業者が望む設計条件の CAD データを自律的に生成することが可能である。

富士通研究所では、デスクワークだけでなく製造現場・物流現場への AI 活用にも取り組んでいる。2024 年 12 月に発表した「現場作業支援 AI エージェント」は映像解析型 AI エージェントであり、映像・音声・テキスト・図面などの多様な情報を統合的に処理できるマルチモーダル生成 AI を用い、製造現場や物流現場に埋もれた非構造化情報を意味的に把握・理解し、根拠や改善策を含めた知識として提示することを目指したものである。

現場作業支援 AI エージェントには、以下の 3 つの主要機能が搭載されている。

(1) 自己学習機能

工場内カメラから取得される膨大な映像データと、手順書・マニュアル・規程文書を突き合わせ、どの作業がどの規則に準拠しているのかを学習により特定する。これにより、人手を介さず、継続的に業務知識と判断基準を AI 自身がアップデートすることが可能となる。

(2) コンテキスト記憶と因果推論

映像上で発生した作業やインシデントを、時間軸と関連づけて理解・記録する。例えば、「フォークリフトの 3.0m 以内に人が近づいてはいけない」という安全衛生規則に対し、AI エージェントが複数カメラの時空間的情報を統合し、誰が、いつ、どの位置で規則を逸脱したのかを検知・報告する。インシデントが発生する前の時空間的情報を遡って解析することで、原因特定や再発防止策の提案まで行うという高度な応用も可能である。

(3)規則・法令理解

社内規定・労働安全衛生法・ISO 規格などの文書を AI に事前に読み込ませ、内容を理解しながら判断基準として活用する。「手すりの高さが規定を満たしていない」、「落下物防止装置が取り付けられていない」など、静的構造物の状態違反も画像・映像から自動判定できる。

これらの機能を進化させることにより、AI エージェントが「人間の補助ツール」ではなく、「現場作業を俯瞰的に把握し、判断・助言・改善提案まで行える協調知能」として機能することを目指している。

Ⅲ. 今後の展望

富士通研究所では、生成 AI の研究成果を社会実装に繋げるため、現場適用のフィールドワークを重視している。製造ラインにおけるトラブル対応、作業手順の可視化、マニュアルの自動生成など、実務に即したプロトタイプがいくつも開発され、国内外の工場で実証が進められている。

また、現場作業支援に加えて、今後はサプライチェーン全体への生成 AI 適用も視野に入れている。富士通研究所が目指すのは、単なる業務効率化にとどまらず、「現場知」を企業全体の知的資産へと昇華し、意思決定の質を高めるナレッジ駆動型の製造業モデルである。現在、日本の製造業が直面する人手不足・技能継承・多品種変量生産といった課題の解決に貢献し、グローバル市場における競争力を支える技術基盤を築いていくことを目指している。

[Fujitsu Technology Hall での技術紹介]

講演後は、Fujitsu Technology Hall 内に展示されている、量子コンピュータとソーシャル・デジタルツインの 2 つの技術について説明を受け、視察を行った。

量子コンピュータは、富士通が理化学研究所と共同で開発中の超伝導方式 256 量子ビットのモックアップが展示されており、絶対零度に近い 10 mK (-273.14°C) 以下で動作する極低温冷却技術などの説明を受けた。実用化には 100 万量子ビットレベルが必要とされ、10~20 年後の実用化が目指されている。2026 年には本店敷地内に量子棟が完成予定であることも紹介された。

ソーシャル・デジタルツインは、イギリスのワイト島で実際に行われた、電動スクーター導入の共同実証研究にもとづいた展示について説明を受けた。AI によるビッグデータ分析と行動経済学の知見を融合し、実際の交通データと人々の行動モデルを用いて、島内で電動スクーターを設置する場所の選択によって CO₂排出削減や交通分散の効果を事前にシミュレーションできるデジタルリハーサル技術であり、今後の活用領域拡大の可能性を感じさせる技術であった。



超伝導方式量子コンピュータ モックアップ 技術紹介

〔業務部〕

● 委員募集中

企業マネジメント研究委員会のご紹介

日機連では、分野別に 4 つの研究委員会(技術イノベーション研究委員会、GX研究委員会、グローバル・バリューチェーン研究委員会、企業マネジメント研究委員会)を設置し、会員参画の下で活動を行っています。会員企業、会員団体のみなさまは、登録(委嘱)手続きのみで委員会へのご参加が可能となりますので、この機会に是非ご登録をご検討ください。

今回、ご紹介するのは企業マネジメント研究委員会です。

企業マネジメント研究委員会では、「(1)企業価値向上のための経営マネジメント」、「(2)労働力不足時代の人的資本経営」、「(3)レジリエンスを高めるリスクマネジメントとガバナンス強化」の 3 つを柱にテーマ設定を行い、有識者をお招きして意見交換及び課題検討を行っています。

<第 11 回企業マネジメント研究委員会>

- 日 程:2025 年 7 月 23 日(水) 15:30~17:00 講演(60 分)+質疑応答(30 分)
- テーマ「事業変革を進めるにあたってのグローバル経営管理と人材戦略
(実践から得た事例の共有)」
- 講 師:三井化学株式会社 理事 ライフ&ヘルスケアソリューション事業本部
オーラルケア事業部長 小野 真吾様

今回、研究委員会への登録にご興味をお持ちの会員様を対象に、お試しでの Web 参加を受け入れます。会場でのご参加は、研究委員会へのご登録後に可能となります。お試し Web 参加をご希望の方は、以下、必要事項を 7 月 15 日(火)までに事務局メールアドレスにご連絡ください。研究委員会当日までに Web 会議用の招待メールをお送りします。研究委員会へのご登録に際しては、役職・年次・年齢等の制限は一切ございませんので、是非お気軽にご検討ください。なお、お試し Web 参加をされた会員様には、後日、研究委員会へのご登録に関するご案内をお送りしますので、予めご了承ください。(会員様の委員登録は、無料です)

<お試し Web 参加 お申込み例/申込期限:2025 年 7 月 15 日(火)>

件 名:第 11 回企業マネジメント研究委員会 お試し Web 参加希望

本 文:①企業名/団体名:一般社団法人日本機械工業連合会

②ご所属:経営企画部 ③ご役職:主任 ④氏名:機械 花子(きかい はなこ)

⑤メールアドレス:sample123@jmf.or.jp

お試し WEB
参加募集中

<委員会登録お問い合わせ先>

事務局:日本機械工業連合会 業務部(gyomu@jmf.or.jp)

[業務部]

Washington Report ワシントンレポート 特別記事

ワシントンコア社(ワシントン DC)より特別記事を寄稿いただきました。

経済史上最も日米関係を象徴する買収が成立

— 国家安全保障と企業買収の今後 —

U.S.スチールへの投資額は当初の 14 億ドルから 140 億ドルまで膨らみ、日本製鉄の今後の実行力が注目されます。本買収案件を日米双方の観点からフォローしてきたニューヨーク大学ロースクール米アジア法研究所日本センター非常勤教授兼シニア・アドバイザーであるブルース・アロンソン氏に、本買収案件がもたらす今後の見通しについてのインタビューです。



記事の詳細は、画像か下記 URL をクリックして下さい。

<https://www.jmf.or.jp/jmf/wp-content/uploads/2025/07/WCOREtr3.pdf>

本資料及び米国投資・技術動向全般にご関心のある方はワシントンコアにお問い合わせください。

<https://www.wcore.com/home/contact-jp/#form-jp>

お問い合わせお待ちしております！

● 経済産業省公開情報

「企業価値向上に向けた海外資本活用ガイドブック」
の公表について

経済産業省では、同省のホームページにおいて、日本企業が企業価値向上に向けた選択肢の一つとして、海外資本活用をより具体的に検討することが可能となるよう、「企業価値向上に向けた海外資本活用ガイドブック」を作成、公表していますので、お知らせします。

詳細は、以下ホームページを参照願います。

<https://www.meti.go.jp/press/2025/06/20250625001/20250625001.html>

近年、市場環境の変化のスピードが加速する中において、日本企業が企業価値向上を目指す上で、自前主義にとらわれず、海外のプレイヤーとの協業連携やオープンイノベーションを積極的に進め、海外活力の取り込みを図ることも重要としています。

なお、経済産業省では、独立行政法人経済産業研究所(RIETI)と共に、本ガイドブックの概要説明や海外資本活用に関する講演、関連事例として掲載した企業による事例紹介を行うセミナーをオンラインにて開催します。

詳細及び参加希望の方は、以下の RIETI Web サイトをご確認ください。

日 時 : 2025 年 7 月 16 日(水)12 時 15 分から 13 時 15 分まで(予定)

開催方法 : オンライン開催(Live 配信・参加無料)

参加申込み・セミナー詳細は以下参照。

[RIETI - 海外資本活用を企業価値の向上につなげるためには一さらなる成長に向けた選択肢を経産省のガイドブックに掲載](#)

〔総務部〕




 日機連の動き

○ 今後の会合予定

開催日時		会 合 概 要	場 所
7 月	7 日(月) 18:00～	2025 年度第 2 回日機連記者室運営企画検討委員会(大阪事務所)	大阪市北区
	16 日(水) 14:00～	日機連会員講演会「ポリテクカレッジへの国内留学で『ものづくり人材』を育成・確保」 講師:JEED(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構)	日機連会議室 1
	23 日(水) 15:30～	第 11 回企業マネジメント研究委員会 講演テーマ:「事業変革を進めるにあたってのグローバル経営管理と人材戦略(実践から得た事例の共有)(仮)」 講師:三井化学(株) オーラルケア事業部長 小野 真吾様 (前 グローバル人材部 部長)	日機連会議室 1 お試し WEB 参加募集中
	31 日(木) 14:30～	第 9 回 GX 研究委員会 テーマ:「日本のエネルギー基本計画と気候変動を巡る「世界の潮流」の変化(仮)」 講師:国際環境経済研究所 理事・主席研究員 東北大学特任教授 U3 イノベーションズ合同会社 共同代表 竹内純子様	日機連会議室 1
8 月	22 日(金) 15:00～	第 79 回社員満足向上懇話会 懇談会 (大阪事務所)	日機連大阪事務所 (大阪市北区)
	22 日(金) 15:30～	第 11 回 GVC 研究委員会 講演テーマ:「世界のエネルギー情勢、資源外交と安全保障～資源小国 日本が目指すべき姿～(仮)」 講師:一般財団法人日本エネルギー経済研究所 専務理事 首席研究員 研究戦略ユニット担任 小山 堅様	日機連会議室 1
	26 日(火) 15:00～	第 10 回 GX 研究委員会 見学会 見学先:日立製作所中央研究所「協創の森」 内容:日立製作所中央研究所のサーキュラーエコノミーの取組みと「協創の森」の紹介、および見学	日立製作所中央研究所「協創の森」 (東京都国分寺市)

会員イベント情報

(一社) 電子情報技術産業協会「センシング先端技術動向 調査報告会」の開催について

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)では、IT・エレクトロニクス産業の今後の発展にとって重要なセンシング技術について最新動向を把握するため、「センシング技術専門委員会」を設置し、先端技術分野について各種調査を実施しております。

今回の報告会では、2024 年度に実施した各分科会の活動紹介と、招待講演として、岡野原大輔氏(Preferred Networks)をお招きし、「生成 AI の進化と今後の展望」と題してご講演をお願いすることとしております。ご関係・ご関心の各位におかれましては、是非この機会にご参加を頂きたく、ご案内申し上げます。

開催概要

日時:2025 年 7 月 25 日(金)14:00~16:50 開催方法:Web 開催(WebEX ウェビナーを予定)

会費:無料 定員:300 名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

申込期限:2025 年 7 月 21 日(月)

下記、URL よりお申込みください。後日、当日のアクセス先をご連絡いたします。

お申込み:<https://www.jeita.or.jp/form/custom/81/form>

※録音・録画は禁止となりますので、ご同意頂ける方のみお申し込みください。

プログラム 司会:センシング技術専門委員会幹事 高須 勲 (株) 東芝

14:00~14:05 「開会のあいさつ」 センシング技術専門委員会委員長 本多 敏
(慶応義塾大学 SDM 研究所 上席研究員)

活動報告

14:05~14:35 「Society5.0/SDGs を加速するセンシング技術に関する調査」 倉田 成人 氏
Society5.0/SDGs を加速するセンシング技術分科会 委員長 筑波技術大学 産業技術学部 教授

14:35~15:05 「スマートセンシングとその社会実装 技術に関する調査」 松本 佳宣 氏
スマートセンシングとその社会実装技術分科会 委員長 慶応義塾大学 理工学部 教授

15:05~15:35 「感性センシングと応用技術に関する調査」 篠田 裕之 氏
感性センシングと応用技術分科会 委員長 東京大学 新領域創成科学研究科 教授

特別講演

15:45~16:45 「生成 AI の進化と今後の展望」 岡野原 大輔 氏
(株) Preferred Networks 共同創業者 代表取締役 最高技術責任者 最高研究責任者
(株) Preferred Computational Chemistry 代表取締役社長

本特別講演では、大規模言語モデル(LLM)を中心とした生成 AI について解説する。こうしたモデルはこれまでにない常識についての理解能力と専門知識、高度な推論能力を有しており、また画像や動画、音声などマルチモーダルも扱えるようになっている。本講演では現在の生成 AI がどのように作られているのかを概説するとともに、この可能性と課題について議論し、将来の展望について考察する。



報告会の詳細について、JEITA のロゴをクリックして、公式パンフレットをチェック!!

(一社) 情報通信ネットワーク産業協会 講演会
「韓国の通信市場概要および通信認証に関して」のご案内

[一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会\(CIAJ\)](#)では、「韓国の通信市場概要および通信認証に関して」の講演会を開催いたしますので、お知らせいたします。

電気通信機の相互認証(MRA: Mutual Recognition Agreement)は、相手国(欧州等の外国)向けの機器の認証(機器が技術上の要件を満たしていることの検査・確認)を自国(日本)で実施することを可能とする二国間の協定です。MRA の締結により、電気通信機器・電気用品等の海外への輸出入が円滑にできるようになり、企業の負担を軽減し、二国間の貿易を促進します。

この度、総務省「技術基準適合証明及び工事設計認証を行う登録証明機関等/登録外国適合性評価機関」として認証を受けました HCT 社様より、「韓国の通信市場概要及び通信認証に関して」と題してご講演をいただきます。

講演会「韓国の通信市場概要および通信認証に関して」概要

日時：2025 年 7 月 17 日(木) 15:00 ~ 17:00

講師：出崎 光一 氏 (HCT Co. Ltd., グローバルビジネスチーム 部長)

：ソン チャンモ 氏 (HCT Co. Ltd., グローバルビジネスチーム 課長代理)

主催：(一社)情報通信ネットワーク産業協会 共催：適合性評価委員会・電磁妨害対策技術委員会

協賛：情報通信月間協議会 対象：一般公開(無料)

申込期限：2025 年 7 月 11 日(金) 17:00

開催方法：会場/オンライン 併用

会場開催：CIAJA/B/C 会議室(定員:50 名) CIAJ アクセス <https://www.ciaj.or.jp/about/access>

東京都中央区日本橋兜町 21-7 HF 日本橋兜町ビルディング 6 階

・後日、セミナー資料を事前公開しますが、当日会場参加の方への紙配布は致しませんので、事前にご自身の PC など機材にダウンロードしていただくか、印刷してご参加ください。

オンライン開催：・zoom ウェビナー(予定)

・ご聴講には、CIAJ iS チャンネルへのご登録が必要です。

・オンラインでのアクセス方法は、当日までにメールでお知らせいたしますので、[iS チャンネル](#)のマイ・ページをご確認ください。

お問い合わせ先：CIAJ 事務局：共通技術部長 鈴木 宗俊 (m-suzuki@ciaj.or.jp)



講演会の詳細や申込については、ロゴをクリックして、公式ホームページをチェック！！

(一社) 日本ねじ工業協会「人手不足を乗り越える職場づくりセミナー ～人材確保のための健康経営～」のお知らせ

[一般社団法人 日本ねじ工業協会](#)では、経営者・人事・労務担当者向けに「人手不足を乗り越える職場づくりセミナー～人材確保のための健康経営～」を開催いたします。

昨今、業界全体で人手不足が深刻化する傾向にあります。優秀な人材を確保するためには仕事とプライベートの両立に必要な従業員のメンタルヘルス、長期休職の対策が重要になります。また、多くの企業から「人手不足」についての相談があります。人手不足倒産が過去最高を更新しており、企業は人材採用・定着に向けての取組は、待ったなしの状態です。従業員満足度向上のための「健康経営」、「最新の福利厚生情報」や「求職者・従業員が職場に求めるもの」を中心に、分かり易く説明いたします。

ご関係・ご関心の各位におかれましては、是非この機会にご参加を頂きたく、ご案内申し上げます。

開催概要

日時:2025 年 7 月 24 日(木)14:00～15:30

参加費:無料

場所:機械振興会館 6 階 67 号室+ZOOMによるハイブリット開催

定員:先着 100 名

申込締切:2025 年 7 月 21 日(月)

セミナー詳細や申込については、[一般社団法人 日本ねじ工業協会公式ホームページ](#)をご参照ください。

講師紹介 MS&AD経営サポートセンター あまかわ みのる 天川 実 氏

<プロフィール> 中堅中小企業向けに、就業規則の整備・賃金体系の変更・評価制度の導入等の人事労務アドバイスやハラスメント・接遇・コーチング等の従業員及び管理者研修の講師を中心に活動中。

<資格関連> 社会保険労務士、1級ファイナンシャル・プランニング技能士

主な内容 14:00～15:30 (注)プログラムは、一部変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

1. 従業員が定着し、採用競争力のある会社を目指して
 - ・はじめに
 - ・最新の福利厚生制度
 - ・健康経営に取り組み「選ばれる会社」を目指そう
2. 働きやすい職場環境を実現するために
 - ・ハラスメントのない会社を目指して
 - ・ハラスメント等による損害賠償事例
3. (参考)会社を守るための就業規則とは

また、(一社)日本ねじ工業協会では、他にも「ねじ」の役割、歴史や統計当を紐解いた「ねじを知る」等、ねじに関する諸情報をオフィシャルサイトで公開しておりますので、併せてご覧ください。



ロゴをクリックして、公式ホームページをチェック!!

(一社) ビジネス機械・情報システム産業協会 「成果発表会 2025」のご案内

[一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会\(JBMIA\)](#)では、今年度も成果発表会を開催いたします。今年度はハイブリッド形式(リアル会場+オンライン)で開催いたします。(1講演+発表9テーマ)初日の冒頭に経済産業省 商務情報政策局 AI産業戦略室長/情報技術利用促進課長/デジタル経済安全保障企画調整官渡辺琢也様 より『生成 AIに関する経済産業省の取組み』というテーマでご講演をいただきます。

■発表日時、テーマ【主催】:



- 7/17(木) ……お申込み締め切り:7/14(月) 17:00
- ・13:00-13:50 【ご講演】生成 AIに関する経済産業省の取組み
経済産業省 商務情報政策局 AI産業戦略室長/情報技術利用促進課長/
デジタル経済安全保障企画調整官渡辺 琢也 様
 - ・14:10-14:50 生成 AI を用いた UI 用語・UI メッセージの改善
【事務機器標準化委員会/ユーザーインターフェイス用語 TF(タスクフォース)】
 - ・15:20-16:00 2024 年度 AI 関連の注目動向 【技術調査専門委員会/AI 関連対応検討 TF】
- 7/22(火) ……お申込み締め切り:7/16(水) 17:00
- ・13:00-13:40 プリンター・複合機業界の「SDGsへの取組み」の情報発信について
【プリンター・複合機部会】
 - ・14:10-14:50 JDF/JMF 共通インターフェースの定義
【商用デジタルプリンティング部会 印刷ワークフロー連携強化 TF】
 - ・15:20-16:00 ビジネスにおけるプリンターの認知・選定・利用に関する調査報告
【ビジネスインクジェットプリンター部会】
- 7/23(水) ……お申込み締め切り:7/17(木) 17:00
- ・13:00-13:40 2024 知的財産委員会海外ミッション(米国)
【知的財産委員会/工業所有権専門 TF・知財法務専門 TF】
 - ・14:10-14:50 日・ASEAN 統合基金(JAIF)を用いた ASEAN 国家試験所技術力向上活動報告
【ASEAN 協業プロジェクト委員会】
- 7/25(金) ……お申込み締め切り:7/22(火) 17:00
- ・13:00-13:40 事務機業界における複数企業による複合機などの共同配送エリアの拡大
【物流・包装委員会/物流共同化 TF】
 - ・14:10-14:50 サービス・サポート部会の活動紹介 【サービス・サポート部会】

※ リンクより発表概要をご覧ください。 [成果発表会 2025 の概要紹介](#)

■会場:ハイブリッド形式の開催となります。(お申込みの際に、どちらか選択下さい)

・オンライン会場: ZOOMによる参加情報を、開催 2 日前までに送付いたします。

・リアル会場: [JBMIA 事務所\(#1・#2会議室\)](#) 各発表で先着 30 名様

■参加費用: 無 料

■お申込み方法:当協会ウェブサイトのトップページ最下部の、「イベント・セミナー」に掲載されている、各発表の開催案内からお申込みください。 [お申し込みはこちらから](#)

※ 発表内容は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お知らせ

(一社) 日本航空宇宙工業会「2028 国際航空宇宙展 (JA2028)」 公式キャラクター「JACKY」の YouTube サイト【JACKY Channel】のご紹介

一般社団法人 日本航空宇宙工業会(SJAC)では、「国際航空宇宙展」の公式キャラクターとして **JACKY(ジャッキー)**が就任しています。

「国際航空宇宙展」は、1966 年の第 1 回開催から始まり、昨年 2024 年 10 月に大盛況で終えた、「2024 国際航空宇宙展(JA2024)」(東京ビッグサイトとの共催)を含め、これまで 16 回開催してまいりました。今後は国内外において JA2028 の最新情報をお届けしてまいりたいと思います。JA2028 開催時期・開催場所については、決定次第 JA2028 web サイトにて公開予定です。



JA 公式キャラクター
JACKY(ジャッキー)

この度、YouTube サイトに、【**JACKY Channel**】が開設されましたので、お知らせいたします。 <https://www.youtube.com/@JACKY-JapanAerospace>



これから 2028 年までの間、日本の航空宇宙産業界を多くの皆さんに知っていただき JA2028 にご来場して頂けるよう、様々な動画を紹介していきますね！チャンネル登録と、応援をよろしくお願いします。

【開催概要】

イベント名称：「2028 国際航空宇宙展(JA2028)」

開催期間：2028 年 秋 開催場所：東京地区

ホームページ：<https://www.japan aerospace.jp/jp/>

お問い合わせ先：(一社)日本航空宇宙工業会 国際航空宇宙展事務局

<https://www.sjac.or.jp/contact/>

